



3 慶雲帖

二帖

山名貫義ほか六十名の合作、

「上」題字…伊藤圭介、序文…高田竹山

「下」題字…小野湖山、序文…高林五峰

明治三十三年（一九〇〇）

絹本着色

本紙各三九・二×三一・八

総各四二・五×三四・九×九・九

明治三十三年の皇太子（大正天皇）の御成婚奉祝の為に、東京市在住の士族清水信夫を総代として献上された画帖。

献上者の清水信夫（生没年不詳）とは、巴江の雅号を持ち、『明治文雅姓名名録』（明治十二年）、『現今東京名家謎語画題』（明治十七年）、『雅風流』（明治二十八年）など、東京の書画家の名簿や臨画集を多く編纂した人物である。『明治文雅姓名名録』中の自身の項では詩書を得意とすると記載している。本画帖は、そうした活動の中で親交のあった東京市在住の画家らが筆を寄せたものと思われ、上記の編纂本などで名前は確認できるものの、今ではその実作例がほとんど知られていない画家も多く含まれている。十九世紀前半に江戸の市中では、大小様々な書画展観会が開催され、画家、書家、文人らの交流が深まる中で、風雅な江戸文化が成熟していった。特定の美術団体の制作によるものではない本画帖は、そうした江戸の文人ネットワークが明治時代の東京にも存続していたことを示している。

一帖目のはじめは、理学博士伊藤圭介による「慶雲」の題字、二枚目に書家高田竹山の序文が続く。二帖目は、詩家小野湖山による「呈祥献瑞」の題字と書家高林五峰による序文から始まる。そして各帖とも三十名の画家が筆を寄せている。特定の団体や流派の集まりではないため、様々な画風が混在しているが、御慶事にふさわしい吉祥画題が多く目に付くのが特徴である。画帖の表紙も、亀甲に寿字を蝙蝠、巴文で囲んだ吉祥文様の裂に、松竹梅文様の飾り金具を四隅に附し、高林五峰の筆による「慶雲帖」という題箋が貼り付けられている。



上⑩ 梶田半古 松二鶏雌雄之図



上⑥ 斎藤南陵 若菜摘之図



上⑳ 西田春耕 群童游戲之図



上⑮ 水野年方 郭子儀



下⑭ 橋本周延 猿田彦命



下⑩ 富岡永洗 高砂尉姥



下⑳ 野口小蘋 寿山福海之図



下⑯ 田中光玉 鯉蛤之図



上④

上③

上②

上①



下④

下③

下②

下①

「慶雲帖」作者・画題一覽

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|---------|--------|--------|---------|--------|-------|--------|------|---------|------|--------|--------|-------|--------|--------|---------|--------|------|---------|--------|-------|-------------|-------|--------|-------|---------|------|------|---|
| 32 | 31 | 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 上 |
| 鳴崎柳塢 | 阿出川真水 | 加藤雪窓 | 武村耕靄 | 中野鷗湖 | 西田春耕 | 大林香簷 | 熊谷直彦 | 久保田金仙 | 平林探溟 | 早川翠石 | 尾竹国観 | 高橋波香 | 松本洗耳 | 佐久間棲谷 | 藤嶋静村 | 野村文拳 | 水野年方 | 馬杉青琴 | 三嶋蕉窓 | 跡見玉枝 | 今村興宗 | 梶田半古 | 村岡桜塘 | 高橋松亭 | 大野樵蘭 | 斎藤南陵 | 古澤雪田 | 中林清淑 | 英一蜻 | 高田竹山 | 伊藤圭介 | 上 |
| 神代人物 | 不老長春之図 | 虞舜彈琴之図 | 蝶百合之図 | 可美真手命 | 群童游戲之図 | 金衣百子之図 | 松島之真景 | 丹鳳朝陽之図 | 武内大臣 | 松鶴遐齡之図 | 佐々礼石 | 西王母 | 養蚕之図 | 長春富貴之図 | 藤花游鯉之図 | 嵐山之真景 | 郭子儀 | 松林旭日之図 | 桜花之図 | 浪暖桃香之図 | 羽衣 | 松二鶏雌雄之図 | 舞榭翁之図 | 宝船 | 松二鷹 | 若菜摘之図 | 一品當朝之図 | 松竹梅山水 | 万歳之図 | 序文 | 題字 | |
| 32 | 31 | 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 下 |
| 橋本雅邦 | 玉置環斎 | 小林永興 | 鏑木清方 | 池田有真 | 荒木寛畝 | 松本楓湖 | 小堀鞆音 | 鈴木華邨 | 池田輝方 | 野口小蘋 | 川端玉章 | 坂卷耕漁 | 高橋広湖 | 瀧和亭 | 名和永年 | 田中光玉 | 大倉耕濤 | 橋本周延 | 尾形月耕 | 寺崎広業 | 尾竹竹坡 | 富岡永洗 | 石川鴻斎 | 村瀬玉田 | 加藤樵舟 | 莊司竹真 | 黒澤墨山 | 山口江月 | 山名貫義 | 高林五峰 | 小野湖山 | 下 |
| 巖竹二靈芝 | 歲寒三友之図 | 鹿二牧童之図 | 福依女 | 徳若御万歳之図 | 菊花 | 養老孝子之図 | 舞榭蘭陵王之図 | 群鳩之図 | 山蔭中納言 | 寿山福海之図 | 宮島真景 | 謡曲鷺白式之図 | 耕作之図 | 富嶽之図 | 百事如意之図 | 鯉蛤之図 | 宝玉宝剑之図 | 猿田彦命 | 小金井観桜之図 | 古松二旭日 | 御代 | 高砂尉姥 | 天保九如之図 | 巖上二鶴鶴 | 尾張連浜主長寿舞榭之図 | 蓬萊山 | 蓬萊宮之図 | 小松引 | 二夕見ヶ浦之景 | 獻呈辞 | 題字 | |

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

ひろげる、たのしむ、小粋な日本画 — 近代画帖の美

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 55

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十三年七月二十三日発行

© 2011, The Museum of the Imperial Collections